

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 1 月 5 日 (2006.1.5)

【公表番号】特表 2001-522916 (P2001-522916A)

【公表日】平成 13 年 11 月 20 日 (2001.11.20)

【出願番号】特願 2000-520503 (P2000-520503)

【国際特許分類】

C 0 8 L 23/14 (2006.01)

C 0 8 F 210/06 (2006.01)

C 0 8 K 3/34 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/14

C 0 8 F 210/06

C 0 8 K 3/34

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 11 月 8 日 (2005.11.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 8 】

【表 1】

	引張弾性率	収縮
標準 PP コポリマー	1,400 Mpa	1.47%
標準 PP コポリマー + 3 % タルク	1,420 Mpa	1.38%
実施例 2 のコポリマー	1,400 Mpa	1.70%
実施例 2 のコポリマー + 3 % タルク	1,600 Mpa	1.59%

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 6 0 】

実施例 4

H D T および T c に対する効果

実施例 2 に従って製造された核剤入りのポリプロピレンをタルクとブレンドし、押出機でコンパウンドした。本発明組成物の剛性を、標準の核剤入り P P コポリマーと比較した。標準コポリマーの核剤は、タルク (< 0 . 5 %) または安息香酸ナトリウム (< 0 . 1 %) であった。

加熱撓み温度 (H D T) は、I S O - 7 5 - 2 (方法 B / 0 . 4 5 M P a) に従って測定された。

結晶化の温度は、示差走査熱量計 (D S C) を用いて 1 0 / 分の冷却速度で測定された。